

安全データシート

Safety Data Sheet

1. 製品名及び会社情報

製品名：白馬 浴槽用洗剤
 会社名：株式会社 万立
 住所：大阪府柏原市片山町 13-59
 担当部門：技術
 電話番号：072-977-0898
 F A X 番号：072-977-0899
 推奨用途及び使用上の制限：床用洗浄剤

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性		人健康有害性	
GHS分類	区分	GHS分類	区分
爆発物	分類対象外	急性毒性（経口）	区分外
可燃性又は引火性ガス （化学的に不安定なガスを含む）	分類対象外	急性毒性（皮膚）	分類できない
		急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
エアゾール	分類対象外	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
支燃性又は酸化性ガス類	分類対象外	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
高圧ガス	分類対象外	皮膚腐食性及び刺激性	区分1
引火性液体	区分外	目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
可燃性固体	分類対象外	呼吸器感作性	区分1
自己反応性化学品	分類できない	皮膚感作性	区分1
自然発火性液体	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
自然発火性固体	分類対象外	発がん性	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない	生殖毒性	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（神経系、肝臓）
酸化性液体	分類できない	特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎臓、精巣）	
酸化性固体	分類対象外		
有機過酸化物	分類対象外	吸引力呼吸器有害性	分類できない
金属腐食性物質	分類できない	環境有害性	
		GHS分類	区分
		水生環境有害性（急性）	区分3
		水生環境有害性（慢性）	分類できない

ラベル要素

： シンボル



注意喚起語

： 危険

危険有害性情報

： 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 神経系、肝臓の障害のおそれ
 長期にわたる又は反復ばく露による神経系、呼吸器、消化器、肝臓、腎臓、精巣の障害のおそれ

水性生物に有害

注意書き

【予防策】

- 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- スプレーの吸入を避けること。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 製造者／供給者または規制当局が指定する保護手袋／衣類および保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 環境への放出を避けること。

【対応】

- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 目に入った場合 : 清水で15分以上注意深く流水洗浄すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け医師に連絡すること。
- 皮膚（又は髪）に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。

【保管】

- 涼しいところ／換気の良い場所で保管すること。
- 施錠して保管すること。

【保管】

- 屋内の涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

- 廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者と契約し、産業物処理法（産業物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を厳守し、適正に処理する。

【使用上の注意】 安全データシート（SDS）を参照して下さい。

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 官報公示整理番号（化審法） : 既存
- 官報公示整理番号（安衛法） : 有り

成分及び含有量

一般名	化学式	化審法番号	CAS-NO.	安衛法番号	含有量 (%)
水	H ₂ O				
2-アミノエタノール	HOCH ₂ CH ₂ NH ₂	2-301	141-43-5	21	3.9
ケイ酸塩	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
非イオン界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
フッ素系界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
グリコール系溶剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
キレート剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
消泡剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
香料	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
染料	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示

危険有害性成分 : 通常の実取扱いに於いて特に有害成分はない。

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 被災者は空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗い流す。炎症がでた場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清水で15分以上注意深く流水洗浄後医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

応急処置をする者の保護	: 救助者は可能な限り保護具（手袋、眼鏡）を着用する。
医師に対する特別注意事項	: 特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。
5. 火災時の処置	
消火剤	: 耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類、水
使ってはならない消火剤	: 情報無し
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性、腐食性および毒性のガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は可能な限り風上から行う。 関係者以外は安全な場所に退避させる。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な処置を行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡）を着用する。 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙やガスの吸入を避ける。
6. 漏出時の処置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	: 作業には必ず保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	: 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法	: 少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等で良く拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、人を安全な場所へ退避させる。 盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
注意事項	: 眼及び皮膚への接触を避ける。
安全取扱注意事項	: 作業の換気を十分行う。 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚や粘膜に触れたり、眼に入らないよう注意する。取扱い後は、手、顔等良く洗い、うがいをする。
保管	
適切な保管条件	: 直射日光を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管する。保管温度は0～30℃が望ましい。
安全な容器包装材料	: 本剤の小分け容器には、ステンレス、ポリエチレン等の材質を使用する。 鉄、アルミ製容器は避ける。
8. 暴露防止及び保護処置	
設備対策	: 蒸気、ヒューム又はミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
許容濃度	: 設定されていない。
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定されていない。（2001年版）
ACGIH	: 設定されていない。（2001年版）
保護具	
呼吸器の保護具	: 通常取扱いでは特に必要ない。状況に応じて着用する。
手の保護具	: 不浸透性（耐薬品、耐油）保護手袋
目の保護具	: 側板付き保護眼鏡（必要に応じてゴーグル型又は全面）
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣、ゴム長靴
適切な衛生対策	: 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
性状	: 透明液状
色	: 黄緑色
臭気	: 香料臭
PH (原液)	: 13.0~14.0 (原液)
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	: 約100°C以上
凝固点	: 0°C以下
引火点	: なし
蒸発速度	: データ無し
燃焼性 (固体、ガス)	: データ無し
燃焼又は爆発特性	: データ無し
蒸気圧	: データ無し
蒸気密度	: データ無し
比重	: 1.025±0.005
溶解温度: 水溶解性	: 水と任意に溶解
溶媒溶解性	: データ無し
発火点	: なし
自然発火温度	: データ無し
分解温度	: データ無し
その他のデータ	: データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件では安定。
反応性	: 強酸、強酸化剤と激しく反応する。
避けるべき条件	: 燃焼、混触危険物質との接触。加熱、火源、混接触物質との接触。
避けるべき材料	: 酸、酸化性化合物、強酸化剤、酸塩化物。
混触危険物質	: 情報無し
危険有害な分解生成物	: 含有するアミン類の一部は亜硝酸と反応して有害なニトロソアミンを生じる。
その他	: 情報無し

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	(製品のデータ): 混合物判定理論LD50推定値ATEmixが2,000mg/kg以上であるため区分外とした
	(成分のデータ): 情報無し
急性毒性 (経皮)	(製品のデータ): 情報無し
	(成分のデータ): 情報無し
急性毒性 (吸入: ガス)	: 情報無し
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 情報無し
急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	: 情報無し
皮膚腐食性/刺激性	(製品のデータ): 本製品のpHが11.5以上であること、区分1の成分を5%以上含むため区分1とした
	(成分のデータ): 情報無し
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	(製品のデータ): 本製品のpHが11.5以上であること、区分1の成分を3%以上含むため区分1とした
	(成分のデータ): 情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	(製品のデータ): 区分1の2-アミノエタノールを1%以上含むため区分1とした
	(成分のデータ): 情報なし
生殖細胞変異原性	(製品のデータ): 情報無し
発ガン性	IARC : 認定されていない。
	NTP : 認定されていない。
	日本産業衛生学会 : 認定されていない。
生殖毒性	(製品のデータ): 情報無し
	(成分のデータ):

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

（製品のデータ）： 区分1（神経系、肝臓）の2-アミノエタノールを3.9%含むため区分2とした
区分2（神経系）のケイ酸塩を1～5%含む
（成分のデータ）： 情報無し

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

（製品のデータ）： 区分1（神経系、呼吸器、消化管、肝臓、腎臓、精巣）の2-アミノエタノールを3.9%含むため区分2とした。
（成分のデータ）： 情報無し

吸引性呼吸器有害性

（製品のデータ）： 情報無し
（成分のデータ）： 情報無し

12. 環境影響情報

生体毒性

（製品のデータ）： 情報無し
（成分のデータ）：

残留性/分解性： 情報無し

生体蓄積性： 情報無し

土壌中の移動性： 情報無し

その他（製品のデータ）： 情報無し

13. 廃棄上の注意

： 内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
焼却する場合、関連法規・法令を厳守する。
廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物収集・運搬・処理業者と契約し、廃棄物
処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を厳守し、適正に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規則

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
海上輸送： 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
航空輸送： 航空法に定められている輸送方法に従う。

国際規則

： 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。

国連分類番号・国連番号

IATA : UN Number :

IMDG : UN Number :

輸送上特定の安全対策及び条件

： 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急処置指針番号

： 無し

15. 適用法令

国内適用法令

消防法： 該当しない。

労働安全衛生法： 表示及び通知対象物質 2-アミノエタノール（21号）

毒劇物取締法： 該当しない。

PRTTR法： （第1種指定化学物質 政令番号第20号） 2-アミノエタノール

船舶安全法： 該当しない。

航空法： 該当しない。

16. その他の情報

問い合わせ先

会社名： 株式会社 万立
住所： 大阪府柏原市片山町13-59
電話番号： 072-977-0898
FAX番号： 072-977-0899

お願い

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱業者
に提供されるものです。

また、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。

記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。
取扱う業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に適切な処置を取ることが必要であることを理解した上で、
使用されるようお願いいたします。